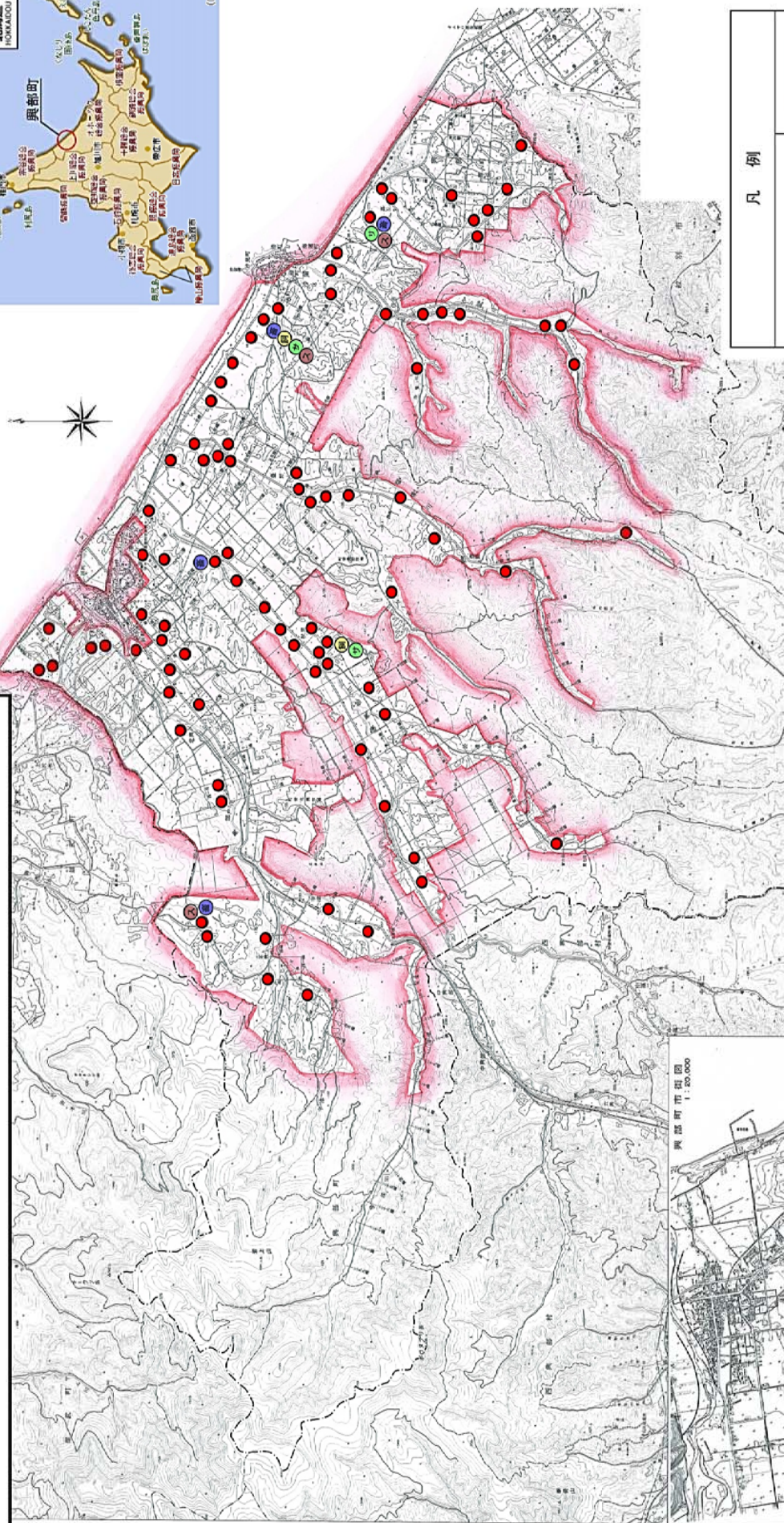


草地畜産基盤整備事業（畜産担い手総合整備事業再編整備型事業）興部地区 概要図



凡 例	
地 区 界	—
受 益 者 位 置	●
家 畜 保 護 施 設	畜
家畜排せつ物処理施設 (スラリーストア)	ス
飼料調製貯蔵施設 (バンカーサイロ)	サ
飼料調製貯蔵施設 (飼料調製庫)	飼

興部市街図
1:20,000



砂留市街図
1:20,000



技術検討会委員事前説明時における指摘と回答(草地畜産基盤整備事業 興部地区)

番号	発言者	該当項目	意見等	回答
1	大熊委員	一枚概要	地域の主産業である酪農を維持していくためには、現在の担い手の状況や今後の担い手の状況を把握したいので、受益農家の年齢構成と後継者の有無について教えてほしい。	確認結果 受益農家のうち個人経営主の年齢構成(評価時点)は、40代が11%、50代が48%、60歳以上が41%であったが、およそ半数の46%に後継者がおり、うち26%は経営移譲が行われている。
2	井上委員長	基礎資料と評価結果書の「3(1)①作付面積」	離農農家の草地については受益農家へ集約されているようだが、家屋や牛舎等の建物はどの様になっているのか。	確認結果 離農農家18戸における家屋等の状況については、継続して家屋に居住しているところが、15戸と大多数となっており、1戸で新規就農者が離農跡地(家屋等)を活用している。ふん尿処理施設の半数は活用されているが、畜舎は3戸が活用されており、一部の活用されていない施設は解体済みとなっている。
3	波多野委員	基礎資料と評価結果書の「5(2)自然環境」	林地の伐採により新たに草地を造成しているが、草地造成により良好な自給飼料の供給が可能となるとともに、本事業で整備したスラーストア等の施設を活用した資源循環型の生産構造が維持され、炭素排出量が低減していることによって温暖化防止に寄与していることについても評価してはどうか。	意見を踏まえ、記載内容を修正 (修正前) 離農跡地等を集積し、草地利用することで、耕作放棄地の発生が防止されるとともに、草地としての機能が維持された。また、暗渠の敷設により、土壌流出の抑制や景観の保全がなされた。 (修正後) 離農跡地等を集積することで、耕作放棄地の発生が防止されるとともに、草地としての土地利用が継続されるため、農村景観が維持されている。また、草地造成・整備を行うことで規模拡大が可能となるとともに、家畜排せつ物処理施設を活用することで資源循環型の生産構造が維持されることにより、炭素排出量が低減しており温暖化防止に寄与している。
4	中原委員	基礎資料と評価結果書の「6今後の課題」	「…輸入飼料に異存した生産構造から…」の”異存”は”依存”の誤り。	意見を踏まえ、記載内容を修正 (修正前) …新規就農者の育成や輸入飼料に異存した生産構造から…。 (修正後) …新規就農者の育成や輸入飼料に依存した生産構造から…。
5	佐久間委員	基礎資料と評価結果書の「6今後の課題」	安定した酪農畜産経営の確立には、就農者の確保とともに自給飼料に立脚した資源循環型の生産構造の推進が必要なので、「…新規就農者の育成を図りつつ、輸入飼料に依存した生産構造から高栄養な青刈りとうもろこし等の導入など、自給飼料に立脚した資源循環型の生産構造への更なる推進を図ることが極めて重要である。」に修正してはどうか。	意見を踏まえ、記載内容を修正 (修正前) …新規就農者の育成や輸入飼料に依存した生産構造から、高栄養な青刈りとうもろこし等の導入など自給飼料に立脚した資源循環型の生産構造の更なる推進を図ることが極めて重要である。 (修正後) …新規就農者の育成を図りつつ、輸入飼料に依存した生産構造から高栄養な青刈りとうもろこし等の導入など、自給飼料に立脚した資源循環型の生産構造への更なる推進を図ることが極めて重要である。